

落合浪江線 ニュース

平成30年 6 月

今年度も引き続き被災箇所の詳細な測量等調査を実施します！

■県道落合浪江線の山腹崩壊・落石等被災箇所の測量等調査実施のお知らせとご協力をお願い

福島県では県道落合浪江線の葛尾村大字落合地内から浪江町大字小丸地内間で、山腹の崩壊や落石等の詳細な測量や調査設計を鋭意進めさせていただいているところであります。

また、昨年12月、復旧に向けた第一歩となる国の災害査定が行われた被災箇所も現在は、復旧工事に一部着手しております。この度、更なる被災箇所の国による災害査定を受検し、本格的な復旧に向けた工事のための詳細な測量等調査を下記のとおり実施することとしましたのでお知らせします。つきましては皆様方のご理解とご協力をお願いします。

【位置図】



【測量等調査概要】

- 調査範囲：県道落合浪江線の道路施設及び斜面（位置図参照）
- 調査期間：平成30年6月～平成31年3月（予定）午前9時～午後4時
※作業期間や時間は天候、地盤状況等で変化しますので予めご了承ください。
- 調査内容：現地踏査、基準点測量、現地測量、路線測量、地質調査
- 調査者：日栄地質測量設計株式会社（いわき市）
担当者 石井清昇（いしい せいしょう）TEL0246-21-3120
- 備考：調査者はヘルメット、作業服、腕章を着用し、身分証を携帯します。作業車両は通行の支障とならないよう駐車し、「調査中」の表示をします。必要に応じ、斜面などの民地に立入りさせていただくこともございます。宅地への立入りは行いません。



山腹崩落による道路施設被災



山腹崩落による被災（通行不能）

■平成29年度に国の災害査定が行われた被災箇所全て（4箇所）の復旧工事に着工しました！

昨年12月に国の災害査定が行われた被災箇所4箇所のうち、既に復旧工事に着手している箇所以外の残り2箇所についても、工事施工者と請負契約を締結し、災害復旧工事に着工いたします。これで、平成29年度に国の災害査定が行われ、復旧工法等が確定した被災箇所全て（4箇所）の復旧工事に着工することとなります。

なお、施工中は工事車両等により部分的な交通規制を伴いますが、一時帰宅等で道路を利用される皆様方の道路交通を確保し、安全にかつ速やかに完成させてまいりますので引き続き皆様方のご理解とご協力をお願いします。

【位置図】



【工事概要】 路線名：一般県道落合浪江線
 工事箇所：工事箇所①② 双葉郡浪江町大字小丸地内（位置図参照）
 工事期間：平成30年6月～平成31年3月（予定）
 施工者：株式会社泉田組（仮事務所 南相馬市）
 担当者：笹原 正廣（ささはら まさひろ） ※工事箇所①
 青山 承志（あおやま しょうじ） ※工事箇所②
 TEL 0244-26-8856



至葛尾

【工事箇所①】

崩落した岩塊を撤去し道路施設を復旧します



至葛尾

至浪江

【工事箇所②】

元の道路位置に復旧します

福島県富岡土木事務所 業務課
 〒979-1111 福島県双葉郡富岡町小浜553番地
 電話 0240-23-5558 FAX 0240-25-8275
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41371a/tomiokadoboku.html>



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.